

# 2024年度 メリー★ポピンズkids朝霞ルーム 事業計画書

## 1. 基本方針

保育理念 「にんげん力育てます」

保育方針 「センス・オブ・ワンダー」人対人コミュニケーションに基づき以下の保育目標を掲げる

【子ども達の活動に以下を取り込む】

- ・子どもの「生きる力を育む」ために、日課・基本保育活動を実施する。  
(戸外活動9時出発、午前午後2回散歩、畑仕事、生き物の世話、長距離散歩)
- ・食材や食の循環・環境への意識を育む環境教育の実践  
(ゴミを堆肥にする、種をまく、間引く、獲る、命をいただく、加工する)
- ・10の姿を体得する。  
(知識や技能の基礎思考力や判断力、表現力の基礎を習得するとともに、学びに向かう力や人間力を養う。)
- ・物的環境を保障する。  
(主体的に関われる環境、経験の選択をできる環境)
- ・小1を知る・アプローチカリキュラムの作成  
(変化の激しいこれからの社会を生きるために、生きる力=知・徳・体のバランスのとれた力を身に付けていく)

### 〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	保育士、栄養士、調理員がチームとして保育内容の質の向上充実を計る。
	実践予定内容	子どもの視点に立った応答的な対応・見守りが的確なのか、子ども同士の関係を大人が妨げていないか等を保育士大学、園長大学を利用し園内研修の中で学び対応を深めていく。
2	計画・ねらい	子ども自らが経験を選びとる物的環境を設定する。
	実践予定内容	・子ども達の遊びや様子を理解し、子ども達が主体的に「やってみたい」気持ちになるよう日々変化をしながら環境を整備する。 ・主体的に参加したくなる複数の体験活動を展開する。
3	計画・ねらい	生活力を体得する。
	実践予定内容	・見守るだけでは、子ども達も育たない。道具の使い方、遊び、唄等を使って見せる環境を作っていく。 ・活動に参加したくない子へのアプローチを考え、試行錯誤しながら実践

		していく。 ・上記の二項目につき指導だけに留まらず、trial&errorを繰り返し洗練させていく。
--	--	---

## 〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	3分間対応を充実させる。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お迎え時に、伝えるべき事項はもれなく伝達する。</li> <li>・子どもの様子や小さな成長を具体的に伝えられるように、昼礼などで保育中の気づきを共有する。園全体で子ども達を見守り、保護者と共に成長を喜ぶ。</li> <li>・家庭での子どもの様子を保護者から聞き出す。</li> </ul>
2	計画・ねらい	保護者面談を実施する。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の希望に応じて子育てについての悩みや相談を話し、保護者に寄り添いながら共に考え学び合える機会を提供する。</li> </ul>
3	計画・ねらい	保護者の気持ちに寄り添う接遇を心がける。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方が安心して預けられる環境を整える。</li> <li>・清掃・整理整頓を怠らず、いつ見ても気持ちの良い園内環境と明るく元氣な挨拶を心がける。</li> </ul>

## 〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	青空保育の充実を図る。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度は集客数が増えず、公園内に人が居ないことが多かった。そこで今年度は場所を変えチラシを配る。</li> <li>・保育園を身近に感じてもらうため、乳児用に遊べるもの等の工夫をしながら取り組んでいく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	園庭解放の充実を図る。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭解放の催しを積極的に取り入れ、誰もが参加して楽しい時間を提供し「ママ友」の作りやすい環境構成に努める。</li> </ul>
3	計画・ねらい	ちきんえっぐの充実を図る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在でも大人気であるが、更に掲示する範囲を広げていく。</li> <li>・保育園の行事や普段の活動の情報発信をしてリピーターを増やしていく。</li> <li>・子育て中の方が悩み事や話すことで発散できる場の提供をする。</li> </ul>

## 〈4〉 次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	子どもの発達を園内研修で検証していく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップのため保育士に新たな知識や技術の講習を受けさせる。</li> <li>・保育士同士で意見交換をし、情報を共有していきながら「10の姿」を育てていく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	目標を明確にし、職員が自分を高めていけるよう取り組む
	実践予定内容	全職員が組織目標と個人目標を設定する。年2回以上施設長との面談を行い、目標の達成度を確認する。
3	計画・ねらい	エリア内にて勉強会を行う。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目・2～3年目・中堅・パートスタッフに分かれ、園長大学・保育士大学を視聴しながらディスカッションを行う。</li> <li>・勉強会で学んだことは、保育に行かせるだけでなく、キャリアアップにもつながっていくため、全職員に勉強会への参加を促す。</li> </ul>

## 〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	子どもと共に保育環境を作り上げていく。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが自発的に活動し経験を積めるように配慮した設定をしていく。</li> <li>・異年齢が混ざり合う中で、発達の差を考慮した環境設定になっているか、子どもが遊び込んでいるか、話し合いながら環境設定に取り組んでいく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	食材や食の循環への意識を育む。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育にて食材の加工を体験できるようにしていく。子ども中心に種まきから収穫を継続的に行う。</li> <li>・年間を通して、梅ジュース・梅干し・ケチャップ・木の実ジャム等の食材加工を行う。</li> <li>・また、コンポストの活用も継続して行い、食材が変化していく様子を学んでいく。</li> </ul>

## 〈6〉保育マネジメント

1	計画・ねらい	保育マネジメントを行う。
	実践予定内容	・保育の現場に入り、適切な保育の在り方を伝え続けると共に職員に考える機会をつくる。
2	計画・ねらい	働きやすい環境づくり
	実践予定内容	・業務の簡素化・残業の軽減・有給取得について現状や課題を把握し、業務内容を見直し勤務時間を有効に使う。
3	計画・ねらい	園内研修を実施する。
	実践予定内容	・園の目標や課題によって、必要と思われる園内研修を設定していく。全職員、子ども達のために最善を尽くしていく。

## 〈7〉インクルーシブ保育

1	計画・ねらい	インクルーシブ保育の充実を図る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものやってみたいという気持ちを可能な限り尊重できる遊びを取り入れる。</li> <li>・コーナーを設けたサーキット遊びを取り入れ、個々の経験が積めるような環境設定をしていく。</li> </ul>
2	計画・ねらい	子どもの自立を図る働きかけをする。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的に社会へ参加することを目指した取り組みとして、自立を見据えた言葉がけ等を大切にしていく。</li> <li>・子ども同士が互いに認め合いながら、自立に向けた保育をしていく。</li> </ul>
3	計画・ねらい	保護者との連携をとる。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものこれまでの育ち方や置かれている環境を知る。</li> <li>・保護者との情報交換するため、積極的にコミュニケーションをとり信頼関係を築いていく。</li> </ul>

## 1. 施設運営

### 〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
6人	6人	9人	10人	10人	10人	50人

### 〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

### 〈3〉スタッフ構成 (3月1日時点)

常勤 スタッフ	保育士	5人	看護師	0人	栄養士	1人	調理員等	1人
パート スタッフ	保育士	6人	補助	0人	調理	1人	事務	0人

## 2. 運営方針

### 〈1〉 施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回   20分	園内研修・研修報告・行事について、各系の報告
給食運営会議	月1回	アレルギー・離乳食・食育
事故防止委員会	月1回	事例をあげ、全職員で話し合う
ケース会議	月1回	個別配慮が必要な子について
乳児会議	月1回	子どもの姿の共有、保育の振り返り
幼児会議	月1回	子どもの姿の共有、保育の振り返り

### 〈2〉 法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	園内研修・研修報告・行事について、各系の報告
施設長勉強会	月1回	保育園の課題を検討しながら、施設長・園・法人全体のスキルアップを図る
食育会議	年4回	各園の状況を伝えていく中で主体的に食事に向かう子どものより良い対応、メニュー、食事の統一
保健会議	年4回	事例検討、完成症やガイドライン等の検討事項
主任会議	月1回	テーマに沿った研修、各園の検討事項
子育ての質を上げる会議	月1回	テーマに沿った研修、実施報告、情報交換

### 〈3〉 各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の汚染区域の安全管理や備品などの管理。
安全対策係	避難訓練や環境安全整備。
防火管理者	保育園の災害不審者に対する取り組み(避難訓練の立案及び実行、省察)
食品衛生責任者	食育会議の計画や実践、食品の安全に対する管理。

畑係	年間農業計画を遂行する。畑仕事を子どもと共に取り組み充実させ、常にこれらの整備を図る。
生き物係	メダカ、グッピー、幼虫を飼い子どもと共に取り組んでいく。

#### 〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	親子で園の祭りを楽しめるように実行していく。
朝霞市 彩夏祭	地域の子育ての一環として有志の保護者、子どもたちとともに楽しむ。

### 3. 保育方針

#### 〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健的な環境を整え、応答的な関わりを大切にして過ごせるようにする。</li> <li>・一人ひとりの子どもの自主性や意欲を尊重し、子どもの健やかな育ちを援助する。</li> <li>・アタッチメントの大切さを認識し、安心して園生活が送れるようにする。</li> </ul>
	下半期 0～1歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら試してみたいと思うような環境を準備し、保育者が見守る中で充分遊べるようにする。</li> <li>・様々な体験を通して、豊かな感性や創造性の芽生えを育てる。</li> <li>・生活に必要な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を育てる。</li> </ul>
幼児保育	上半期 3～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境が整備された中で、満足感が得られる保育を行う。</li> <li>・自発的に試したいと思う環境を整備し、充分遊べるようにする。</li> <li>・年長児が2～3歳児と生活する中で助け合いを経験していく。</li> </ul>
	下半期 2～5歳児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合ったり、試行錯誤したり仲間と協働で遊びを進める力を育む。</li> <li>・自己決定しながら主体的に生活する。</li> <li>・自分で考えたり、工夫したり、判断したりしながら創造性を培っていく。</li> </ul>
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、希望する保護者に対し実施</li> <li>・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用</li> </ul>

意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月と11月に実施予定

## 〈2〉年間行事計画

- ・2024年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2024年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

## 〈3〉給食・食育運営方針

1	計画・ねらい	大切な命をいただく
	実践予定内容	クッキングを楽しみながら、野菜や魚などを使い大切な命を食べている事を、絵本やペープサート等を使い伝えていく。
2	計画・ねらい	子どもが自主的に食事を楽しめるよう進めていく
	実践予定内容	子どもが好まない献立・残食などをどのような工夫が必要か、全職員どのような対応が必要か、課題を見出し給食会議で話し合い残食を減らす
3	計画・ねらい	畑の作物づくり、クッキングを行うとともに、環境を意識し生ごみからのコンポスト作りを継続的に行う
	実践予定内容	クッキングは、その日だけの取り組みとせず片づけた後の堆肥づくりにも興味を持たせるために、子ども達に伝えていく。

## 〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	うがい指導・手洗い指導・歯磨き指導・体力づくり・食育活動・栄養教育活動・室内温度湿度管理
流行が予測される感染症	通年・・・新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 11～12月頃・・・ウイルス性胃腸炎 1～2月頃・・・インフルエンザ

発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ・・・0名 緊急用アレルギー飲み薬・・・1名より預かり済み／園にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在6名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については4月末日までに受講予定
AED使用できるスタッフ (AED設置施設のみ)	現在6名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員については4月末日までに受講予定
その他保健に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児から5歳児までに歯磨き指導を行う。</li> <li>・感染症予防のため手洗い、うがい指導を行う。</li> <li>・着替えのマナー指導を行う。</li> </ul>

### 〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時



	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

## 〈6〉環境整備

1	計画・ねらい	早番による室内、園庭などの安全点検を毎日行う
	実践予定内容	保育室の遊具類の整理整頓、必要な物だけを置く。気持ちのいい環境を維持する。子どもたち自らの意思で 사용할 ことができる環境構成を行い、清潔で安全な環境を整える。
2	計画・ねらい	感染予防のために、消毒をする。
	実践予定内容	玩具・机・椅子・トイレ等は感染症(新型コロナウイルス・ノロウイルス・インフルエンザ等)予防のため消毒を実施していく。
3	計画・ねらい	午睡布団を清潔に保つ
	実践予定内容	清潔を保つために、午睡用布団は年3から

## 〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

### 手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定時期
1	パーテーション	乳児室	毎日点検を行う

## 4. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践予定内容	原則として危機管理マニュアルに則り行動する。危機管理と危機対応の方法を周知する。災害時緊急連絡「うちの子管理画面」の利用方法について常に確認し全職員が周知する。
2	実践予定内容	避難訓練を月1回する。園児の安全確認及び保護者との連絡体制を確立する。災害時発生時対応フローチャートを全職員に周知する。年1回以上、消防署と共に総合避難訓練を行い、アドバイスを受けながら危機管理を高めていく。
3	実践予定内容	事故防止チェック、設備点検などを定期的実施し、不十分な項目については園全体で話し合い改善を考えていく。ヒヤリハット、インシデントの事例は、園研修に取り込んでいきながら検証していく。
4	実践予定内容	うちの子アプリに登録された送迎者以外の方には、園児の引き渡しを行わない。また送迎者に変更があった際には、早急に保護者に修正を依頼す

		る。
5	実践予定内容	光化学スモッグについては、朝霞市の情報をいち早く職員に伝達する。特に戸外に居る職員には、素早く園児と共に日陰に避難し、保育園に戻る対応を考え、園に連絡を入れる。 また、園内に居る場合にも窓を閉めるなどして、子ども達の健康状態に留意する。
6	実践予定内容	不審者の対応は年2回行っているが、日々の保育の中で職員が常に意識し素早く子ども達を守れるようにする。 施設長・主任・リーダー格が不在時を想定し、自ら判断、行動がとれるようにしていく。
7	実践予定内容	ヒヤリハット・インシデントの事例はグラフ化するとともに、ピックアップし園会議等で検証していく

## 5. 実習生・中高生の受入

### 〈1〉今年度方針・テーマ

学校からの依頼があれば実習生、中高生を積極的に受け入れ、安心して体験学習を行えるよう配慮する。体験学習を通じて、気軽に保育園を訪れ園児たちと交流が持てるよう行事等に誘う働きかけを行う。

1	実践予定内容	体験を充実させる一方で園児の個人情報や施設の機密情報等に関しては慎重に行う。情報セキュリティについて意識し、安心して体験できるようにする。
2	実践予定内容	全職員で実習生・中高生が安心して子ども達と接することができるよう温かく対応していく。
3	実践予定内容	実習生は保育の一環として保育園を訪れるが、その後も保育園に遊びに来てもらえるよう働きかけを行う。

## 6. スタッフ育成と研修計画

園会議の中で、保育の質の向上に向けた課題に組織的に対応するため。保育内容の改善や保育者同士の役割分担の見直し等に取り組む。各スタッフが必要な知識や技能を見つけられるようにする。日常的にスタッフ同士が主体的に学び合う姿勢と環境を整え職場内での研修の充実を図る。

## 新人研修

## 新人社員研修

## スタッフ研修

- 入社時オリエンテーション
- 現場OJT研修
- 保育品質マニュアル研修  
(事務研修・ケガケーススタディ研修含む)
- コンピテンシー研修
- 新人社員研修  
→ 会場研修
- 系列園保育実地研修

保育スキル研修



←お迎え  
対応研修



←避難訓練研修

- 全社員研修 (年1回)
- 園内研修 (月1回以上)
- 保育スキル研修 (エリア別)
- リーダー養成研修 (9~2月)
- 業務改善研修 (月1回)  
(=保育の質を上げる会議)
- 施設長勉強会 (月1回)
- デンマークインターンシップ (年1回)
- コンピテンシー自己採点 (月1回)
- 人権チェック (4月・10月)
- 外部研修
- 上級救命救急資格取得講習

### 〈1〉 2024年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 園外保育のリスクマネジメント	・散歩時の人数確認、配置場所、遊び方等をロールプレイを通して学ぶ。
5月24日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 室内環境	・子どもの姿を通して環境設定について学ぶ。
6月28日	18:00~20:00	② コンピテンシー自己採点 ③ 水遊びのリスクマネジメント	・水遊びマニュアルの確認、ロールプレイを通して学ぶ。
7月26日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 接遇・神対応	・保護者に3分間対応の仕方を学ぶ
8月23日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 生活力の体得	・基本活動を通して子どもの育ちを考える。
9月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 保育の振り返り	・子ども主体保育、自分で考えて行動する保育がなされているか、考え学ぶ。
10月25日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 10の姿	・子ども達の進捗状況を学び合う。
11月29日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 10の姿	・子ども達の進捗状況を学び合う

12月27日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 要録について	・要録担当に子ども達の姿をまとめる。
1月31日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度の振り返り	・今年度を振り返り各自発表する。
2月16日	18:00~20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 年間策定会議①	・次年度の行事を決める
3月2日	9:00~18:00	① コンピテンシー自己採点 ② 年間策定会議②	・次年度の向けて決める

#### エリア研修予算内訳（9課合同開催）

開催日	研修テーマ	研修内容	参加園
月に1度 計8回	「エリアで学び 合う世代別職員 研修」	年代別、分野別に分かれて集まり、共通の課題解決や学びを通じて地域全体の保育の質の向上と地域コミュニティの活性化を目指す。 世代別、分野別の意見や研修を通じて、より実践に即した保育の力を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メリーポピンズ志木駅前ルーム</li> <li>・メリーポピンズ志木ルーム</li> <li>・志木どろんこ保育園</li> <li>・メリーポピンズ朝霞東ロルーム</li> <li>・メリーポピンズkids朝霞ルーム</li> <li>・メリーポピンズ朝霞南ロルーム</li> <li>・メリーポピンズ朝霞台ルーム</li> <li>・メリーポピンズkids北朝霞ルーム</li> <li>・メリーポピンズ北朝霞ルーム</li> <li>・朝霞どろんこ</li> <li>・三原どろんこ</li> <li>・仲町どろんこ</li> </ul>

## 〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

## 〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											

全社員研修	9月1日～30日までの間に録画視聴（全スタッフ対象）
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定
デンマークインターンシップ	希望するスタッフが応募

#### 〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

#### 〈5〉全職員、個人年間計画を立てる

- ・2024年度の目標を策定会議に立てる。ロッカー室に掲示し意識していくようにする。
- ・乳児クラス目標、幼児クラス目標も作り上げ、年2回の省察発表をする。

## 7. 地域交流計画

#### 〈1〉今年度方針・テーマ

保育園としての専門的機能を、地域の多様化する保育ニーズに合わせ活用していく。小中学校との交流、老人施設交流、地域のシニアとの交流、近隣の商店街との交流を行う。

#### 〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：朝霞の森にて
商店街ツアー	週1回
世代間交流	地域との交流を積極的に行い、多様な年齢層の中で人との繋がりを大切にしていく。 職員は勿論のこと子ども達も、自然に挨拶ができるようにしていく。
異年齢交流	3歳児から5歳児まで日常的に異年齢保育を行い、生活の中でお互いを見つめ合いながら成長していく。 0歳児から2歳児までは子どもの成長の姿を見極めながら、異年齢児で過ごせるようにしていく。
地域拠点活動	おしゃべりサタデークッキングを大いに利用していく。地域の方の子育ての悩み、園の講座等で活動を行う。

銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉
----------	-------------

## 8. 小学校との連携の計画

朝霞市の幼保小連携事業及び小学校と相談・協議を行いながら実施する。小学校見学・運動会などへの参加を通じて、近隣の小学校との交流及び連携を図る。

### 〈1〉今年度方針・テーマ

- ・アプローチカリキュラムを作成する。小学校へと円滑に引き継げるように子どもの姿を捉えた保育計画の作成。
- ・小学校1年生の事業を施設長・主任・担当保育士が自分の目で見、全体的な計画の「おおむね6歳」を見据えて内容を工夫していく。

### 〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を5月中旬より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
10月頃	朝霞市立第八小学校	10名予定	運動会計画	子ども間交流
10月頃	朝霞市立第八小学校	20名予定	しいのみ祭り	子ども間交流
2月頃	朝霞市立第八小学校	10名予定	授業参観+校舎内見学	こども間交流

## 9. 要支援児計画

### 〈1〉個別支援計画の作成・見直し

要支援児の個別支援計画を立案し、子どもの変化を職員が共有し、同じ視点に立って子どもを援助していくようにする。保護者との面談を密に行う中で子どもの発達や成長を保護者様、職員間で共有していく。インクルーシブ保育の中で、計画との整合性があるか具体事例に基づいて検証していく。安心した生活が送れるように職員間で共有を行い、子どもと丁寧に関わることで援助していく。

### 〈2〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：12名予定 参加者：担当保育士)

専門機関と連携し、療育方針・方法を共有していく。

療育で毎月連絡を入れ様子を確認し、保育にも取り入れていく。

障害児に対しての全職員の間で共通の正しい認識が持てるようにする。結果として全職員が同じ視

点で立ち保育をできるようにする。

### 〈3〉進級引継、および、小学校への引継

進級引継ぎは、書面と引継ぎ会議で行う。

気になる子どもへの円滑な引継ぎができるよう、その子の特性を生かすよう支援の計画を伝えていき連携を図っていく。

## 10. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30 ※感染症により行政から中止の指示がある場合は、その旨を掲示でお知らせする。
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30
自然食堂…親子ランチ交流	毎週(火) 10:00～12:00
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00
ちきんえっぐだより	毎月1日発行
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名:朝霞の森にて開催

## 11. 園運営の向上

### 〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

2024年度受診予定なし

### 〈2〉園による自己評価の実施

2024年4月末日までに「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻: 14時00分

自己評価終了予定時刻: 14時30分

自己評価実施予定者: 全職員

### 〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

## 1.2.3 3カ年計画の具体化

### 〈1〉昨年度の振り返り

3月末までに目指した姿	重点施策	地域に開かれた保育園を目指す。
	振り返り	今年度は、土曜日のおしゃべりサタデークッキングを多く取り入れた。離乳食クッキング初期、カレーライス、お鍋、離乳食クッキング、クッキー、ケーキ等を調理士協力のもと大いに楽しめた。地域の方も、参加すると次に友だちを誘ってくれ徐々に増えていった。保護者と地域の繋がりもでき来年度も引き続きこの体制で、行っていきたい。

### 〈2〉当年度以降の3カ年計画

2024年度	目指す姿	地域に選ばれる園を目指す
	重点施策	園舎内は常に清潔にする。職員のスキルを上げるのは無論のこと、人間性も磨いていく。地域に開かれた子育て支援を展開し、地域と共に育ち合い活性化できる取り組みを行っていく。
2025年度	目指す姿	子どもの姿をしっかりと捉え丁寧な応答へとつなげ、養護と教育の質を高めていく。
	重点施策	リーダー層を中心に、園内研修での発表の機会を設け、学ぶ機会を増やしていく。それぞれの子どもの個性の育ちや発達を意識し、明確な保育の目標を持って関わっていく。行動や表情に表面化されていない「気持ちや」や「心の動き」を読み取ることで、よりよい育ちや学びに繋げていくよう働きかけていく。
2026年度	目指す姿	質の高い保育を目指す
	重点施策	インクルーシブ保育の在り方を常に話し合い追及していく。全職員、やりたい支援を計画、実行、反省まで行う。保護者、職員と共に子どもの成長の喜びを分かち合う。

以上

作成日：2024年3月15日

作成者：メリーポピンズkids朝霞ルーム施設長 和田 和江